

# 具体的整理を国交省に要望

## UDタク介助料問題「通達に期待」



「セダンで介護料金を受けていたころは、UDタクシー車両が主流になる時代が来ることを誰も想定していなかった」と話す漢ケア輸送委員長（9月27日、大分市・県交通会館）

漢  
その部  
分の整理をい  
い。漢  
なっている  
が、曖昧でよ  
く分からない  
という事業者  
は少なくな  
る。すべてを無料奉仕で良  
いのかというと、われわれ  
限り乗降介助料金を收受  
して良いのか、具体的な整  
理を要望しており、近く見  
解が示されるものと期待し  
てある。

漢ケア輸送委員長との一  
問一答は次の通り。（文中  
敬称略）

——介助料金收受を運輸  
行政から指摘され処分され  
れば「訴訟も辞さない」と

強く反発している事業者も  
いる。事業者にすれば青天  
のへきれきで、「現場の苦  
労が分かっていない」「過  
去の経緯や通達を無視して  
いる」などの批判が上がり

ユニアーサルデザイン（UD）タクシーの乗降  
介助料金の收受は認めないとする国土交通省の見  
解がタクシー業界に波紋を広げている。漢二美・  
全国ハイヤー・タクシー連合会ケア輸送委員長  
(九州乗用自動車協会会長)は9月27日、大分市  
の県交通会館で本紙取材に応じ、乗降介助料金を  
收受できる場合など具体的な整理を国交省に要望  
しているとし、「近く通達が出ることを期待して  
いる」と話す。

### 漢・全タク連ケア輸送委員長に聞く

漢  
セダンで介護料金を  
收受していたころは、UD  
タクシー車両が主流になる  
時代が来ることを誰も想定  
していなかった。  
UD車両は健常者も体の  
不自由な人なども、みんな  
分け隔てなく利用できると  
いうのがコンセプト。乗降  
介助料金を收受されること  
に利用者側が違和感を覚え  
るのは至極当然のことだ。

一方で、JPN TAX  
I（ジャパンタクシー）の  
場合、車いすの乗降に手間  
ひまが掛かり、歩合制の乗  
務員の立場に立てば（毎回  
どんなケースでも）無料奉  
仕で行うことに戸惑いを感  
じる人がいるのも人情とし  
て理解できる。

——ある交通不便地域の  
タクシー会社への配車依頼  
は足腰の弱い高齢者などが  
多く、ほぼ100%が介助  
を伴うという。運送に直接  
関わらない料金は收受して  
いる。も良いことに

場合もあるのだとか。  
国交省にはじういう場合  
に限り乗降介助料金を收受  
して良いのか、具体的な整  
理を要望しており、近く見  
解が示されるものと期待し  
てある。